

## 平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 (株)ブロードバンドタワー

コード番号 3776 URL <http://www.bbtower.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 大和 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員戦略財務責任者 (氏名) 細谷 繁

TEL 03-5573-8181

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	2,809	1.0	68	△17.9	61	△23.2	33	△50.8
21年6月期第1四半期	2,780	—	83	—	79	—	68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	369.55	367.56
21年6月期第1四半期	753.82	737.98

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第1四半期	8,458	5,525	63.4	57,053.93
21年6月期	8,398	5,391	62.4	57,517.06

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 5,366百万円 21年6月期 5,242百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年6月期	—				
22年6月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	5,800	10.9	140	15.4	120	0.7	50	—	535.34
通期	12,300	19.5	530	109.0	490	99.8	190	—	2,034.30

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第1四半期 100,939株 21年6月期 98,035株

② 期末自己株式数 22年6月期第1四半期 6,880株 21年6月期 6,880株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第1四半期 91,438株 21年6月期第1四半期 91,123株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 平成22年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、当第1四半期までの新株予約権の行使、平成21年9月28日付の第三者割当増資による増加株式数を反映させております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）におけるわが国の経済は、輸出や生産、個人消費などを中心に一部で持ち直しの動きが見られたものの、企業収益の減少や雇用情勢の悪化により依然厳しい状況が続いております。

インターネットを取り巻く環境においては、クラウドコンピューティングやSaaS等の新たなサービス形態に対する関心の高まりと、それに関連するアウトソーシングサービスの提供が拡大しておりますが、データセンター市場においては、一般的に企業のIT投資意欲は依然として弱く、競合企業間での価格競争が一層激化するなど、引き続き厳しい環境となりました。

しかしながら、当社はこの状況をチャンスと捉え、今後一層の拡大が見込まれるクラウドコンピューティングやSaaSの需要に対応するため、パートナー企業と連携しながら、当社のプラットフォームとシンククライアント技術を基盤とするソリューションの開発に注力し、第2四半期以降のサービスラインアップ強化に努めました。

Eコマースプラットフォーム事業については、成長を続けるEC市場の中で、顧客ニーズを的確に捉えたサービス展開が奏功し、前期に続き大幅な事業規模の拡大と成長基調の維持を続けております。特に平成21年6月より新たに開始したTVショッピング支援事業については、スタートアップにも関わらず好調な結果を出すことができました。

また、トップダウンによる全社的な取り組みとして、社内コスト削減委員会を立ち上げ、社内のみならず、顧客や外部主要ベンダー各社と協力しながら、より徹底したコスト削減の実施を継続しております。

こうした事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,809百万円（前年同四半期比1.0%増加）、営業利益は68百万円（前年同四半期比17.9%減少）、経常利益は61百万円（前年同四半期比23.2%減少）となりました。また、四半期純利益につきましては33百万円（前年同四半期比50.8%減少）となりました。

なお、平成21年9月に、安定的かつ継続的な協体制の構築を目的として、ヤフー株式会社を割当先とした第三者割当増資を実施しております。

当第1四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりであります。

(1) コンピュータプラットフォーム事業

フレックスホスティング及び既存データセンターサービスの、新規顧客に対する売上高については順調に伸張いたしました。全体としては既存顧客のコスト削減による縮小や解約に伴い、売上高が減少いたしました。当社の主力プロダクトである「Isilonシリーズ」のストレージ機器販売に関しては、前年同四半期において大型案件の売上高を計上した影響と、IT設備投資の計画延期や抑制による受注の遅れから売上高は減少いたしました。その結果、売上高は2,011百万円（前年同四半期比20.3%減少）、営業利益については34百万円（前年同四半期比55.0%減少）となりました。

(2) Eコマースプラットフォーム事業

連結子会社である株式会社ビービーエフにおいては、既存のECシステム構築支援・運用サービスに加え、新規に参入したTVショッピング支援事業が売上高の増加に大きく寄与しました。取り扱いブランド数は、当第1四半期連結会計期間末現在において261ブランドまで増加しております。その結果、売上高は797百万円（前年同四半期比209.0%増加）、営業利益は34百万円（前年同四半期比382.4%増加）となり、前期に引き続き、売上高のみならず営業利益においても大幅な成長基調を維持しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、8,458百万円となりました。これは主に、売掛金の増加83百万円、商品及び製品の減少55百万円、有形固定資産の減少52百万円及び投資有価証券の増加100百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、2,932百万円となりました。これは主に、買掛金の増加148百万円及び長期借入金の減少202百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、5,525百万円となりました。これは主に、第三者割当増資等による資本金の増加44百万円及び資本剰余金の増加44百万円に加え、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加33百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して3百万円減少し、3,449百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、243百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益61百万円、減価償却費97百万円及び仕入債務の増加額148百万円等の増加要因に対し、売上債権の増加額83百万円等の減少要因があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、126百万円（前年同四半期比66.1%増）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、120百万円（前年同四半期比40.9%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出202百万円及び株式の発行による収入89百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月11日発表の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

（四半期連結貸借対照表関係）

前第1四半期連結会計期間において、区分掲記しておりました「長期設備関係未払金」は、金額が僅少となったため、固定負債の「その他」に含めて表示しております。なお、当第1四半期連結会計期間末の固定負債の「その他」に含まれる「長期設備関係未払金」は1,689千円であります。

（四半期連結損益計算書）

前第1四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「業務受託手数料」は、当第1四半期連結累計期間において金額的重要性が増したため、区分掲記しております。なお、前第1四半期連結累計期間の「業務受託手数料」は536千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,449,672	3,453,106
売掛金	1,322,235	1,238,380
商品及び製品	156,835	212,703
その他	321,539	324,798
貸倒引当金	△4,065	△2,627
流動資産合計	5,246,216	5,226,361
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,230,991	1,252,667
機械及び装置（純額）	304,806	310,772
工具、器具及び備品（純額）	516,727	539,239
リース資産（純額）	38,174	42,586
建設仮勘定	2,447	—
有形固定資産合計	2,093,147	2,145,266
無形固定資産		
のれん	38,131	42,897
その他	20,932	19,583
無形固定資産合計	59,063	62,481
投資その他の資産	1,059,673	964,326
固定資産合計	3,211,884	3,172,074
資産合計	8,458,100	8,398,435
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	754,847	606,196
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	405,000	405,000
未払法人税等	20,222	40,831
その他	216,646	209,184
流動負債合計	1,896,716	1,761,211
固定負債		
長期借入金	1,012,500	1,215,000
その他	23,661	30,838
固定負債合計	1,036,161	1,245,838
負債合計	2,932,877	3,007,050

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291,579	2,246,861
資本剰余金	2,274,868	2,230,153
利益剰余金	2,157,365	2,123,574
自己株式	△1,348,480	△1,348,480
株主資本合計	5,375,332	5,252,110
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△8,896	△9,142
評価・換算差額等合計	△8,896	△9,142
新株予約権	5,420	3,639
少数株主持分	153,366	144,777
純資産合計	5,525,222	5,391,384
負債純資産合計	8,458,100	8,398,435

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,780,528	2,809,063
売上原価	2,423,386	2,413,557
売上総利益	357,141	395,505
販売費及び一般管理費	273,492	326,790
営業利益	83,649	68,714
営業外収益		
受取利息	3,105	666
受取保険金	9,178	—
為替差益	—	985
業務受託手数料	—	2,544
その他	1,049	92
営業外収益合計	13,334	4,289
営業外費用		
支払利息	9,209	11,752
為替差損	7,996	—
その他	23	5
営業外費用合計	17,229	11,758
経常利益	79,754	61,245
特別利益		
新株予約権戻入益	20,589	—
その他	3,574	0
特別利益合計	24,164	0
特別損失		
固定資産除却損	—	70
特別損失合計	—	70
税金等調整前四半期純利益	103,918	61,175
法人税、住民税及び事業税	18,782	11,821
法人税等調整額	13,396	6,974
法人税等合計	32,179	18,795
少数株主利益	3,048	8,589
四半期純利益	68,690	33,790

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	103,918	61,175
減価償却費	124,372	97,633
のれん償却額	4,766	4,766
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,574	1,438
受取利息及び受取配当金	△3,105	△666
支払利息	9,209	11,752
投資有価証券売却損益 (△は益)	△625	—
株式報酬費用	—	1,780
新株予約権戻入益	△20,589	—
売上債権の増減額 (△は増加)	92,147	△83,598
たな卸資産の増減額 (△は増加)	96,099	55,868
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44,005	148,651
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,348	△21,472
その他	2,745	20,084
小計	340,009	297,414
利息及び配当金の受取額	3,065	666
利息の支払額	△19,306	△17,467
法人税等の支払額	△37,783	△37,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,984	243,116
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,493	△24,908
ソフトウェアの取得による支出	△1,448	△1,554
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△100,000
投資有価証券の売却による収入	625	—
敷金の差入による支出	△16,099	—
敷金の回収による収入	267	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,148	△126,462
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△202,500	△202,500
設備関係割賦債務の返済による支出	△2,420	△2,470
リース債務の返済による支出	—	△4,548
株式の発行による収入	1,723	89,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203,197	△120,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,638	△3,433
現金及び現金同等物の期首残高	2,930,676	3,453,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,937,315	3,449,672



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるコンピュータプラットフォーム事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	コンピュータプラットフォーム事業 (千円)	Eコマースプラットフォーム事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,011,228	797,835	2,809,063	—	2,809,063
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,658	1,440	4,098	(4,098)	—
計	2,013,886	799,275	2,813,161	(4,098)	2,809,063
営業利益	34,388	34,288	68,677	37	68,714

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の内容

事業区分	主要サービス
コンピュータプラットフォーム事業	スペースサービス、インターネット接続サービス、運用監視サービス、ホスティングサービス、アプリケーションサービス、データセンター運用受託サービス、プロダクト販売、コンサルティングサービス
Eコマースプラットフォーム事業	ECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援事業、コンテンツ配信サービス、コンテンツ企画・製作、サイト構築支援

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年9月28日付で、ヤフー株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が39,990千円、資本準備金が39,988千円増加し、当第1四半期連結累計期間末において資本金が2,291,579千円、資本剰余金が2,274,868千円となっております。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

(2) 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	2,011,228	△20.3
Eコマースプラットフォーム事業	797,835	+209.0
合計	2,809,063	+1.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
ヤフー株式会社	1,296,158	46.6	1,206,262	42.9

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。